

思春期・青年期における問題行動

「スマホ依存」、どう診る

日時	令和8年7月9日（木曜日） 午後1時30分から午後4時00分まで（1時00分受付開始）		
対象	特別区・島しょの行政職員、精神保健福祉関係機関職員、医療機関職員、教職員等		
受講方法	オンライン（Zoom ウェビナー）	定員	400名

目的	思春期・青年期において、スマートフォンでのSNSやゲームなどに依存する若者を理解すると共に、回復に向けた治療・支援について学ぶ。		
講師及び内容			
東京都立松沢病院 思春期精神医療 医師 稲熊 徳也氏	スマートフォンの長時間の使用がやめられず依存してしまう人の心理や状態を理解し、関わる際のポイントや支援方法について学びます。また、松沢病院での相談例や治療プログラムについてもご紹介いただきます。		

<受講にあたっての留意事項>

- Zoom ウェビナーで配信します。受講に必要な環境は各自でご準備ください（パソコンなど画面を見ることができ音声を聞くことができる端末及びインターネット環境があることが必要です。カメラ、マイクは必要ありません。）センターでは、動作や環境設定の問い合わせは応じかねます。
- 会場開催はありません。
- 資料については各自ダウンロードして使用してください。
- 申込み後の受講者の変更は出来ません。
- 詳しくは、東京都立中部総合精神保健福祉センターホームページをご覧ください。

【主催・問合せ先】

東京都立中部総合精神保健福祉センター 広報援助課広報研修担当 電話 03-3302-7704（直通）